

第3部 グループワーク「自分達の地域における学習支援について考えよう」

- 研修会の後半では、近隣の地域の学校同士のグループで、「自分達の地域における学習支援について考えよう」をテーマにワークシートを用いてグループワークを行いました。
- 前半の行政説明や事例発表の内容を踏まえ、地域の実情に応じた沢山の意見・アイデアを出していただきました。グループワークの中で出た主な意見・アイデアを紹介します。



【グループワークで出た主な意見・アイデア】

項目	内容	
	小学校	中学校
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の支援 ・授業の支援 ・体験活動等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験生を対象とした支援 ・定期テスト前の支援 ・市民センターで自習している生徒の支援
具体的な支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自習している児童の質問への支援 ・練習問題等の〇付け支援 ・実技科目等の授業への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・自習している生徒の質問への支援 ・夏休みの宿題への支援 ・数学と英語等科目を絞った支援
協力者	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生 ・PTA父兄 ・塾講師 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生（宇都宮大学、作新大学など） ・元教員 ・非常勤講師
協力者の確保方法	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会回覧 ・中学校に依頼 ・地域コーディネーターの呼び掛け 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターからの情報 ・大学、高校に呼びかける ・魅力協委員のネットワーク
実施期間	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇中の数日間 ・学校の要望で随時 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活引退後の秋～冬 ・協力者の都合により決定
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室と連携 ・学校教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター ・学校教室
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の確保 ・協力者の守秘義務 ・活動場所の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の確保 ・協力者の守秘義務 ・高度な学習内容への対応

- 本市においても、地域の教育力を生かした学習支援に係る取組みを促進していきたいと考えておりますので、他自治体の取り組み事例や本研修会での事例発表、グループワーク等を参考にし、今後の各協議会での取組みに繋げていただきますようお願いいたします。

魅力ある学校づくり地域協議会通信

発行 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議
宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課

1 「魅力ある学校づくり地域協議会関係者研修会」の報告について

- ・ 標記研修会が、平成29年2月6日に市教育センター5階503・504研修室で、70名の関係者の方の参加を得て開催されました。
- ・ 当日は、地域コーディネーターや地域協議会委員、地域連携教員などを対象に、地域協議会による学習支援活動について、宇都宮市と国の取組状況の行政説明、市内で先進的な学習支援活動に取り組んでいる地域協議会による事例発表が行われました。また、研修会後半では、学習支援に関するグループワークを行い、参加者それぞれの立場から、地域の教育力を生かした学習支援について考えていただく機会となりました。

第1部 行政説明「地域の教育力を生かした学習支援について」市教委生涯学習課 主事 佐藤涼

- 学校教育と家庭での取組み（本市）

学校教育	習熟度別学習の効果的な実施など、基礎基本の学習内容の習得を図っている。
家庭学習	家庭への啓発を行うなど、学校の授業以外での学習習慣の定着を図っている。

- 地域での取組み（本市と国）

	宇都宮市	国
放課後子ども教室	事前に登録した児童を対象に、放課後や週末等において、体験活動や交流活動のほか、宿題タイムなど授業以外での学習機会の提供を行っている。	放課後や週末等において、学校の余裕教室等を活用して全ての児童の安全・安心な活動場所を確保し、地域と学校が連携・協働して学習等の機会を提供する活動を推進している。
魅力ある学校づくり地域協議会	全ての児童生徒を対象に、授業の補助活動のほか、児童生徒と地域の交流事業など授業以外での学習機会の提供を行っている。	地域コーディネーターが中心となり、学校と家庭と地域が連携・協働し、地域人材等を活用しながら、授業の補助、自主学習の支援その他の学校支援活動を行う活動を推進している。
地域未来塾	一部の地域協議会では、大学生・元教員等の協力を得て、学習支援を実施している。	大学生・元教員等の地域人材を活用し、中高生等に対して学習支援を行う取組みを推進している。

- 地域未来塾とは

- ・ 経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中高生等への地域と学校の連携・協働による学習支援を実施
- ・ 教員を志望する大学生などの地域住民、塾などの民間教育事業者、NPO等の協力により、多様な視点からの支援が可能

○ 他の自治体における学習支援の取り組み事例の紹介

(1) 小学校における学習支援

① 放課後子ども教室の取り組み事例
(新潟県五泉市立全小学校)

- ・ 市内在住の退職教員，主婦，僧侶，教員を志望する大学生等を指導者として，宿題を中心とした自主学習と体験活動の支援をしている。
- ・ 児童7名に対して1人の指導者を配置し，個に応じた支援を通して基礎学力の向上を図っている。



② 魅力ある学校づくり地域協議会（学校支援地域本部）の取り組み事例
(大阪府島本町立全小中学校)

- ・ 平成23年度に50名ほどのボランティアでスタートしたが，現在約100名となり，ローテーションを組んで，放課後学習会などで学習支援を行っている。
- ・ 学習支援サポーターには，元教員は少数で，各種産業のエンジニアであった方が多いことが特徴であり，そのほか元看護師，裁判官，音楽家などの様々な分野から参加いただいている。



(2) 中学校における学習支援

① 地域未来塾の取り組み事例
(京都府向日市立西ノ岡中学校)

- ・ 生徒の高校進学への意識を高めるため，部活動を引退した中学校3年生の希望者を対象に放課後の学習支援「西ノ岡放課後塾」を実施している。
- ・ なるべく地域在住で西ノ岡中学校出身の大学生を募集するため，学校支援地域本部のコーディネーターが地域で声かけをしながら募集チラシを配布している。



第2部 事例発表

西が岡小学校地域協議会 副校長 吉住寛子 氏（地域の教育力を生かした夏休みの学習支援について）

- 西が岡小学校地域協議会では，児童の学校の授業以外での学習を習慣化することを課題と捉え，地域協議会委員や地域のボランティアなどの協力による学習会支援の活動を実施している。
- 今年度で4年目を迎えた学習会支援は，大変好評のため，参加者が年々増え続けている。
- 成果として，児童の学習意欲の高まりや長期休業中の児童の生活リズムの改善が挙げられる。

【学習会支援の概要】

実施場所	児童会室，音楽室，普通教室
実施期間	7月25日～28日（夏休み中）
実施時間	1～2時間
対象者	3年生以上（事前申込制）
実施形態	夏休みの宿題や持参した教材による自主学習を基本とし，教職員とボランティアがペアになって学習支援にあたる。
支援者	担任を持たない教職員，地域協議会委員，地域のボランティア など
参加人数	4日間で延べ659名



豊郷中学校地域協議会 副校長 野澤秀行 氏（地域の人材による放課後の学習支援について）

- 豊郷中学校地域協議会では，生活及び学習習慣の確立と学力向上の支援を地域ぐるみで行い，生徒の健全育成に寄与する取組みとして，放課後学習支援（とよちゅう勉強会）を実施している。
- 今年度で8年目を迎えたとよちゅう勉強会は，昨年度までは，週1回月曜日の実施であったが，好評のため，今年度から週4回に拡大して実施している。
- 成果として，生徒の学習意欲向上や学校が学習の場であると意識付いていることが挙げられる。

【放課後学習支援（とよちゅう勉強会）の概要】

実施場所	オープンスペース，習熟度別学習室
実施期間	11月～2月頃までの月火木金
実施時間	3時15分から4時25分（5時間の日） 4時20分から5時15分（6時間の日）
対象者	3年生（事前申込制）
実施形態	持参した教材（国数英理社）で自主学習し，分からないところを教えてもらう。
支援者	教職員，帝京大学生，地域協議会委員，非常勤講師 など
参加人数	33日間で延べ約1200名

